

住吉字を住みよい字とするためには

以下の方法で、ワークショップを行いました。

●ワークショップの進め方

ワークショップでは参加したみなさんをランダムにグループ分けし、話し合いをベースに進めました。①「こんな字には住みたくない」という内容を全員で意見出し
→意見出し「ごみの多い字」

②「こんな字には住みたくない」の意見を似た意見ごとに集約
→「ごみの多い字」を集約し、「きたない字」

③②で集約した内容と真逆のイメージを考えることで「住みたい字」のキーワードを洗い出す
→「きれいな字」（「きたない字」の逆）

④「住みたい字」のキーワードと現在の住吉字の現状を比較し、何が必要かを考える（次回以降のミーティングでより深く考える）
→④字の現状：ぱつと見ごみがない・字内清掃がある、道を泥で汚している等



どのような字にしたいか

3

どのような字にしたいか

みんなで考えた「住みよい字の条件」とは。

①日常的にあいさつにあふれ、会話の多い字

- ・コミュニケーションが盛ん
- ・会話が多い
- ・よくあいさつをする
- ・共通の話題が多く、話ができる
- ・住む人がニコニコしている
- ・明るい人が多い

⑤必要な行事があり、行事を通じてつながりが深まる字

- ・母の日のつどいのような行事を残す
- ・行事がほどほどにある
- ・みんなの楽しめるような行事は必要
- ・行事が多くない

②相手を理解しつつ、協調・協力のある字

- ・常識のある人が多い
- ・相手を尊重する
- ・プライバシーが守られる
- ・協調性がある
- ・協力的である

⑥若い人や子どもが多く、活気のある字

- ・若者が多い
- ・子どもが多い

※その他
・字が好き

③清潔で明るさのあふれる字

- ・きれいな環境
- ・よい香り
- ・ごみがない

④住む人の必要な環境が整っている字

- ・子ども安心できる環境
- ・環境設備が整っている
- ・ネット環境の充実
- ・交通の利便性が高い
- ・商店が多い
- ・よい意味で静か
- ・住める家の充実
- ・遊び場の制限がない



4

参加者の感想

- ・コロナでできなくなっているが前にやっていた行事等が地域のつながりだけでなく、移住してきた方とつながりの場となるので大切だと感じた
- ・若い自分たちは字に意見をいう機会がなかったが、参加してはじめて意見をいうことができ、また聞いてもらえるんだと自信が持てたので、次も参加したいと思った
- ・住吉字の「人間性のよさ」という意味がよくわからなかったが、今日参加してみて話を聞いてもらえる環境があることなどがわかり、納得できた
- ・本日参加して字の方向性がみえてきた。新しく住む方が字で挨拶できる場として行事や日常活動が大切であることを理解できた



今後のスケジュール（予定）

◆第2回住吉字ワークショップ

2月11日（土）19時～

@住吉地区振興センター

内容：学習会+ワークショップ

◆第3回住吉字ワークショップ

2月18日（土）19時～

@住吉地区振興センター

内容：ワークショップ

◆報告会

3月4日（土）19時～

@住吉地区振興センター

内容：報告会

- * 字民であれば、どなたでも参加できます。
- * 急な日程変更がある場合もございます。

2/11 住吉字プロジェクト ワークショップ報告書

2月11日に開催された字ミーティングは2部構成でした。

第1部は学習会「迎え入れる人はどんな人かを知ろう！」と題したパネルディスカッションを開催しました。

第2部は前回の会議で決まった「住みよい字の条件」について、更に深く考える「『住みよい住吉』となるために何をすべきか？」と題した字の方々によるグループ討議が行われました。

※次回第3回ワークショップは、令和5年2月18日（土）19時～@住吉地区振興センター



1

■第1部パネルディスカッション

「迎え入れる人はどんな人かを知ろう！」

【パネラー】

えらぶ島づくり事業協同組合	職員	寺内祐介さん
知名町商工会青年部	部長	金城良太郎さん
	副部長	宇山一麻さん

【コーディネート】

株式会社アネシス	吉留大輔
----------	------

【話のまとめ】

- ①U・Iターン者が字に住む際の迎え入れ方が重要である
- ②移住しようとする際のポイントは子育て等の住む環境及び仕事があるかないか？
- ③島全体の産業では人手不足が深刻であるが移住する方が住む場所がないという悩みもある

質問①島にU・Iターンしようと思ったきっかけを教えてください

寺内：関東でITコンサルをしていたが、南の島にあこがれて調べていたら「沖永良部」を見つけ、移住を決断

金城：元々沖永良部育ちで、東日本大震災、熊本地震を現地で経験。家業継承のこともあり、戻ってきた

宇山：奥様の実家が知名町でその縁で島の魅力を知り移住を決意

質問②現在就いている仕事の内容を教えてください

寺内：えらぶ事業協同組合（沖永良部島内の人材不足を解消するために人材派遣業）

金城：鉄工所を経営。商工会青年部部長も務める

宇山：自動車業。商工会青年部副部長も務める

2

質問③沖永良部の産業とその採用の現状について

- ・沖永良部の主幹産業である農業をはじめ、幅広い産業で人手不足に陥っている
- ・Uターン者と地元との連携がまだまだ足りていないため、仕事内容の共有ができていない
- ・移住者が気にしていることは
 - ①島の環境（特に30代、40代からは子育てについての質問も多い）
 - ②島での仕事の話
- ・農業の繁忙期の違いを克服する同じジャガイモ生産地である北海道と沖永良部の南北連携も実施中
- ・住吉字の主幹産業は農業であり、特にサトウキビに関しては若い方にとってメリットのある産業
- ・農業の受け皿をどう広げるか？が今後移住者を増やすかにおいて重要

質問④仕事を作るという中で、字と協力して実現できるものについて

- ・観光協会の取り組みとして、字の人と協力した観光ルート開発などの可能性
- ・働き手を探した後に住む場所がないという問題が発生しており、迎え入れる字とのマッチングも重要

質問⑤家族を連れてのUターン者にとって字はどう見えるか？

- ・字活動は当初行くべきかを含めて、戸惑った
- ・字との接点をどう作ってもらえるかが島外から移住する人にとってはとても重要だと思う
- ・字が公民館で歓迎会を開いたことで人を知るきっかけとなった



3

■第2部ワークショップ

「『住みよい住吉』となるために何をすべきか？」

【前回】 みんなで考えた「住みよい字の条件」

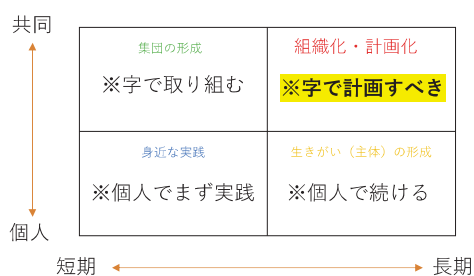
- ①日常的にあいさつにあふれ、会話の多い字
- ②相手を理解しつつ、協調・協力のある字
- ③清潔で明るさのあふれる字
- ④住む人の必要な環境が整っている字
- ⑤必要な行事があり、行事を通じてつながりが深まる字
- ⑥若い人や子どもが多く、活気のある字



【今回】 シート回収の結果、4つのテーマが選ばれ、その4つについてより深く考えるグループワークを実施

- ①まずはそれぞれのテーマについて何ができるか？を意見出し
- ②それぞれのアイデアを実現するために必要な時間と協働性の有無という2軸で考えてみる
- ③4つのテーマを全員で見直し、何が必要かを考えるというワークショップを実施
- ④字全体で計画をつくるべき内容を可視化

【アイデアについて考える際に利用したシート】



※また今回のグループ内討議の際のまとめ役はグループ内の若手の方に依頼をしました。非常にみなさんまとめ方がうまく今後の進行でも大きな力となってくれると思います。

4

①日常的にあいさつにあふれ、会話の多い字についての内容

※赤エリアが意見が多かったエリア

集団の形成	組織化・計画化
身近な実践	生きがい(主体)の形成

具体的な意見

【身近な実践】
あいさつ運動

- ・死ぬまで現役あいさつ活動
- ・率先した声掛け
- ・家でもあいさつ活動
- ・すれ違う時にあいさつ
- ・にこやかに自分から
- ・声を大きく
- ・常に笑顔

つながり強化

- ・会話のネタ作り
- ・積極的なおしゃべり

その他


- ・無視しない
- ・引きこもらない

【集団の形成】
行事の活用

- ・集まる機会をつくる
- ・行事の時に機会をつくる

その他

- ・スローガンを作る
- ・子どもたちへの声掛け



④住む人の必要な環境が整っている字についての内容

※赤エリアが意見が多かったエリア

集団の形成	組織化・計画化
身近な実践	生きがい(主体)の形成

具体的な意見

【組織化・計画化】
住環境の整備

- ・空き家改修事業
- ・空き家の活用
- ・住む家がある
- ・住宅環境の整備
- ・安全に暮らせる住居がある

安定した収入の確保

- ・働く場所と安定した収入
- ・仕事がある

町内移動手段の整備等


- ・移動の負担軽減
- ・バスの乗り換え等の改善
- ・スーパーの出店
- ・道の舗装

【身近な実践】
美化環境活動

- ・ごみ拾い
- ・空き缶拾い
- ・草花の苗づくり
- ・草花の提供

思いやり活動

- ・周りの人の求めていることを考える



5

⑤必要な行事があり、行事を通じてつながりが深まる字についての内容

※赤エリアが意見が多かったエリア

集団の形成	組織化・計画化
身近な実践	生きがい(主体)の形成

具体的な意見

【集団の形成】
行事内容についての意見

- ・行事に参加することで字のつながりを強める
- ・隣人も振るって声掛けできる行事
- ・気軽に参加できる行事
- ・年齢に関係なく参加できる行事
- ・人と会う楽しみが感じれる

既存行事に関する意見

- ・各種団体の活動
- ・既存行事の改善 (暗川まつり/母の日/字清掃/敬老会)

【身近な実践】
行事への積極的参加

- ・行事へとりあえず参加する
- ・現在ある行事に参加する
- ・行事に積極的に参加する

その他

- ・家周辺の美化
- ・花の植栽

【その他】
コロナに関すること

- ・早くコロナから卒業しよう
- ・コロナに負けない
- ・コロナ以前に戻す

その他

- ・育成会の頑張ったで賞

⑥若い人や子どもが多く、活気のある字についての内容

※赤エリアが意見が多かったエリア

集団の形成	組織化・計画化
身近な実践	生きがい(主体)の形成

具体的な意見

【集団の形成】
子どもの交流・学び

- ・子ども会の新聞をつくる
- ・子どもの学び・交流の場
- ・「住吉」を学ぶ場
- ・なんでも学べる楽しい塾
- ・育成会活動をコロナ前へ戻す

交流の場の形成

- ・わくわくするマーケット
- ・コミュニケーションの機会を増やす
- ・子ども、青年、老人、婦人、壮年がまとまる
- ・気軽に相談できる場所
- ・ものづくりワークショップ

その他

- ・名人リストをつくる

【組織化・計画化】
環境を整える


- ・公園が必要
- ・シマを出た若者が帰って来れる家を用意する
- ・住まいを増やす

その他

- ・字の得意な部分を強化する

【身近な実践】

- ・口うるさい人がいない



6

2/18 住吉字プロジェクト ワークショップ報告書

2月18日に開催した字ミーティングはワークショップを中心に行いました。前回のワークショップでは参加者をA～Dの4グループに分かれてもらい「住みよい住吉」に必要なことについて、マトリクス図を使用して、短期・長期という時間を軸に、個人で出来ること・字で取り組むこと・字内での組織化が必要なことに分類し、整理しました。今回のワークショップではそれを踏まえて、前半は「人と会う楽しみが感じられる行事」をテーマに敬老会を題材とし、後半は「持続可能な字になるために」をテーマに空き家活用・住宅整備について話し合いました。今回は子供たちの参加も多く、世代を超えた活発な議論が行われました。



1

■前半ワークショップ

テーマ

「人と会う楽しみが感じられる行事」を考えよう！

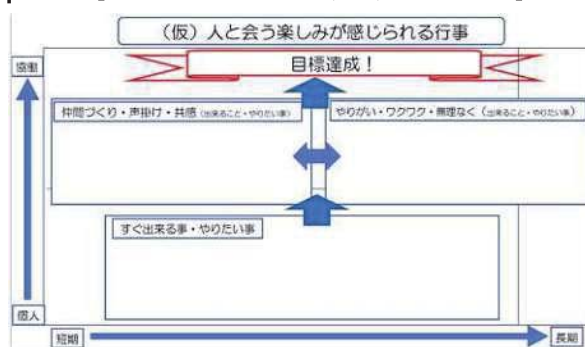
今回選んだ行事は・・・？

～ 敬老会 ～

選んだ理由

今より更に「住みよい住吉」になるために、字の行事を見つめ直すことは必要不可欠です。敬老会はコロナ禍の影響で3年もの間、開催されていませんが、小さなお子さんからお年寄りまで幅広い年代が参加する字の大切な行事の一つです。準備を含めると約半年後に迫った敬老会をより楽しい行事にするために必要なことを考えます。

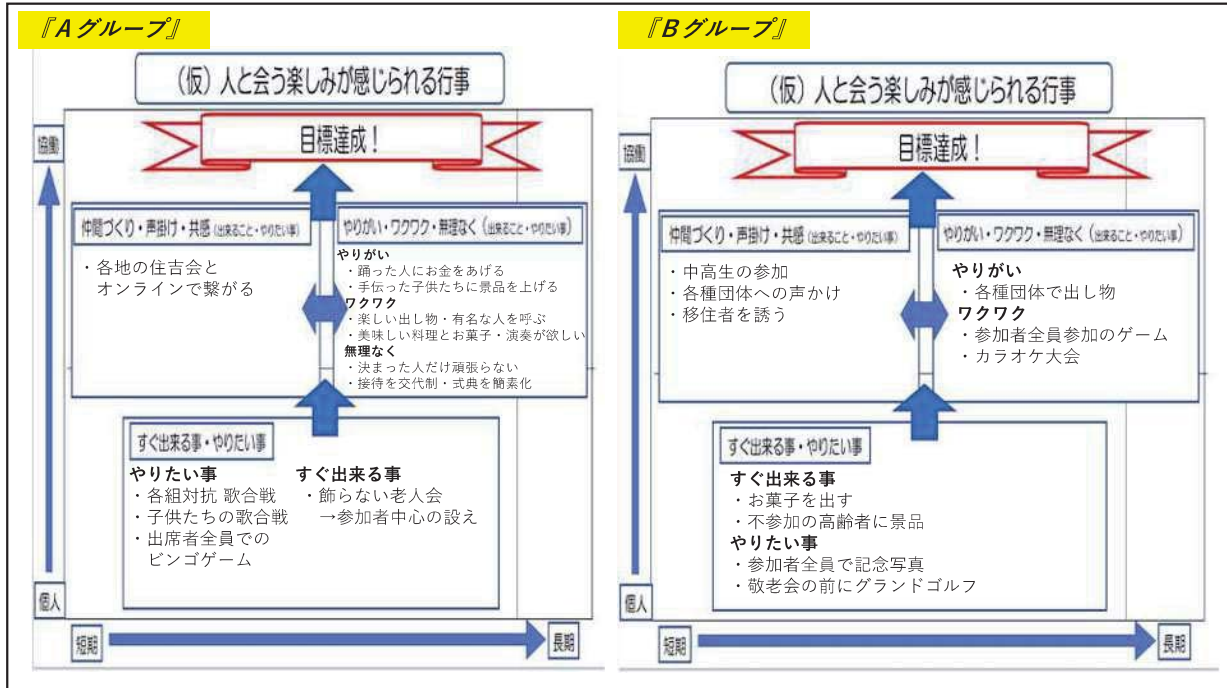
【アイデアについて考える際に利用したシート】



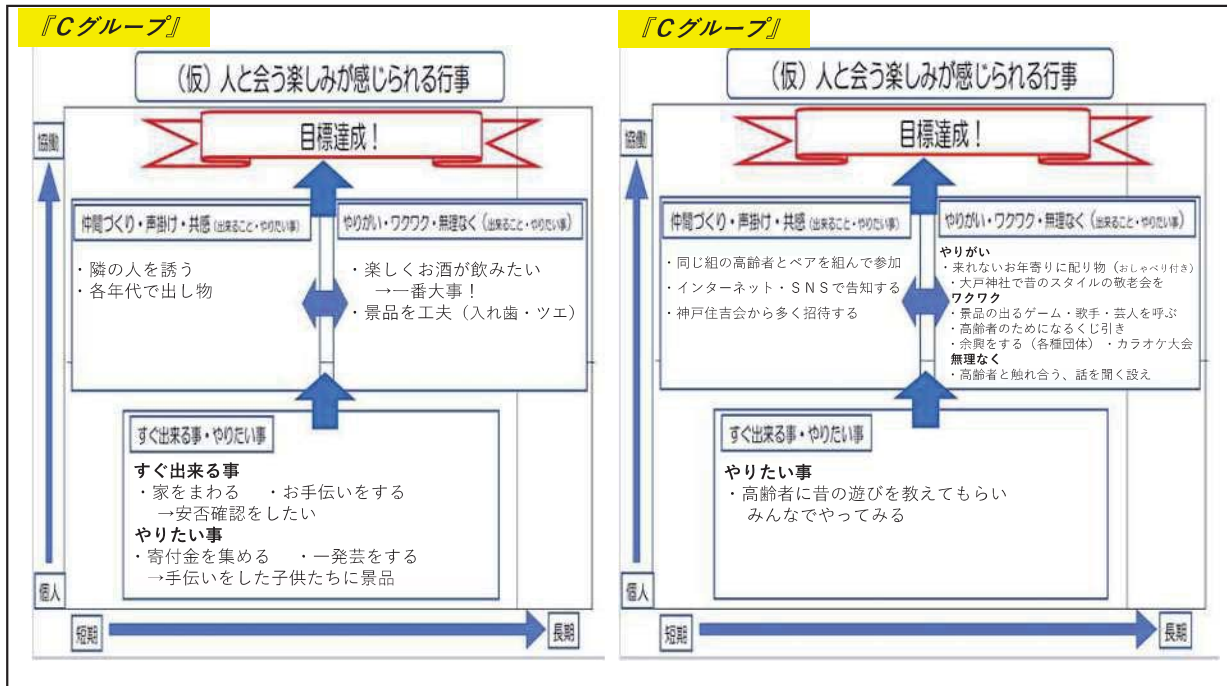
※アネシスコメント

ワークショップの最後に各グループのまとめ発表を行いました。発表者は役員から二名と青壮年部から二名でしたが、青壮年部の発表は役員に劣らず、しっかりとグループでのまとめを発表されていました。これから字を支える世代としての自負が感じられました。

2



3



4

『前半ワークショップまとめ』

～住民の考えるより楽しみが感じられる敬老会とは？～

【すぐ出来る事・やりたい事】

- ・来られないお年寄りに対する気配り
- ・参加した子どもも含めて楽しめる内容
- ・敬老会での参加確認を利用して安否確認
- ・世代を超えての交流ができる内容

【やりがい・ワクワク・無理なく】

- ・より交流がしやすい内容（ゲーム・カラオケ・昔話）
- ・景品等を活用して楽しい内容にする
- ・式典を簡略化し、負担がかからないやり方に変更
- ・各種団体での出し物参加

【仲間づくり・声かけ・共感】

- ・中高生など若い世代への呼びかけ
- ・各地の郷土会や外部の方への呼びかけ
- ・オンラインの活用
- ・各種団体の積極的な参加

Aグループ



Bグループ



皆さん真剣にワークショップに取り組んでいます！



Cグループ



Dグループ

5

■後半ワークショップ

テーマ

「持続可能な字になるために」

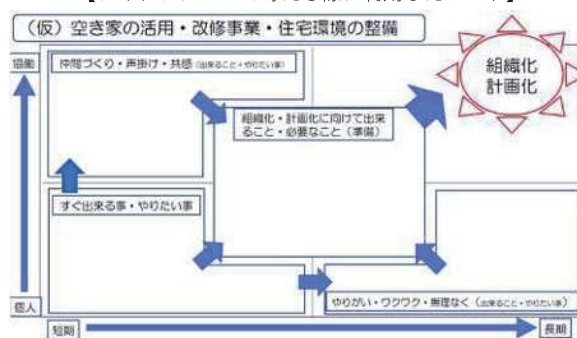
今回選んだミッションは・・・？

空き家活用・改修事業・住宅整備

選んだ理由

住吉字が「住みよい住吉」として住みたい地域の魅力が増すほど、忘れてはならないのが迎入れる準備です。人が生きるうえで重要な「衣・食・住」ですが、長期的な視点で取り組まなければならないのが「住」の要素です。移住を希望される方々がいつでもはいるように、個人として出来ること字として取り組まなければならないことについて、今から準備することが必要です。

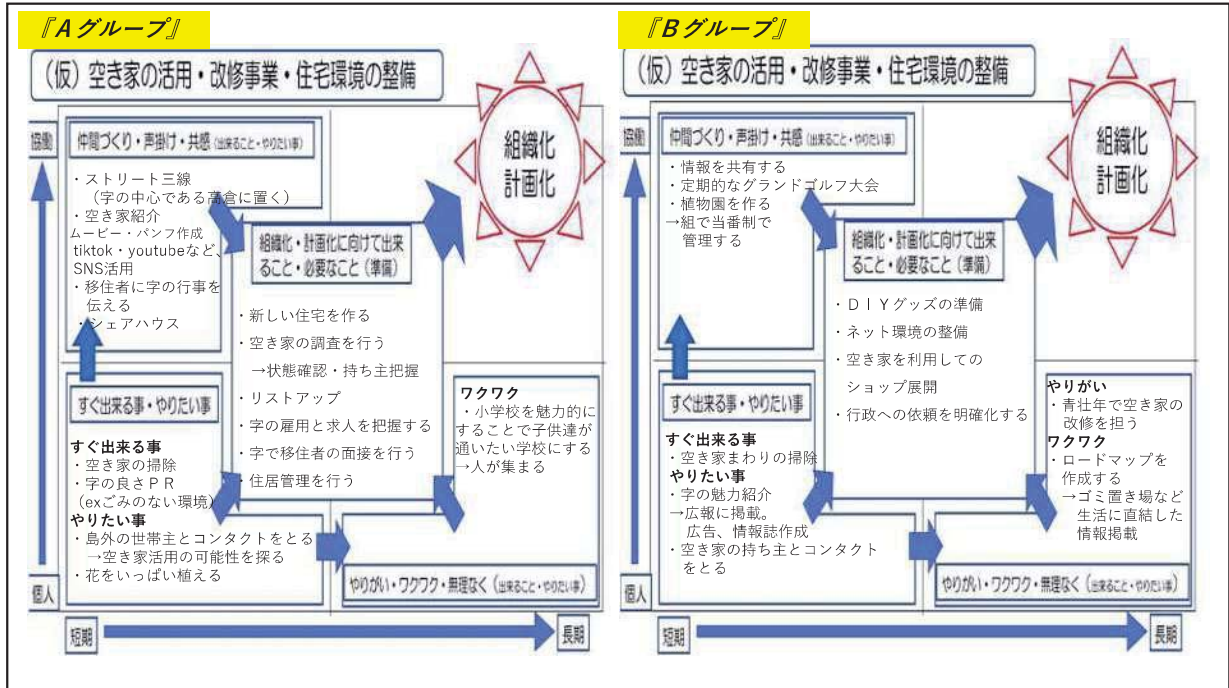
【アイデアについて考える際に利用したシート】



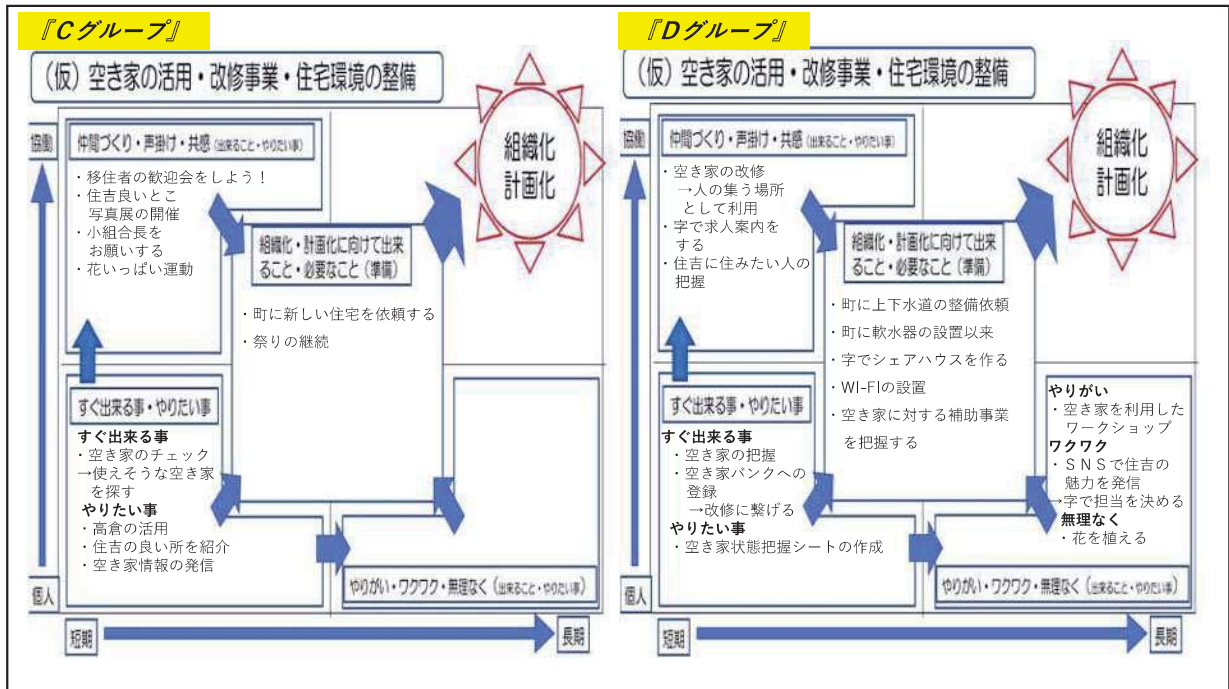
※アネシスコメント

テーマとミッションが話し合いには少しハードルが高いのでは？と危惧していましたが、杞憂に終わりました。それぞれのグループで世代ならではの意見が活発に飛びかい、非常に充実したワークショップとなりました。出された意見は「次の一手」候補として住吉字に変化をもたらすいくつかの希望に見えました。

6



7



8

『後半ワークショップまとめ』 ～空き家活用・改修事業・住宅整備について～

【すぐ出来る事・やりたい事】

- ・空き家の清掃、空き家周辺の清掃
- ・空き家の把握（空き家シートの作成→持ち主確認・状態把握）
- ・字の魅力の発信したい

【やりがい・ワクワク・無理なく】

- ・空き家の有効活用（ワークショップの場にした）
- ・空き家の改修を青壮年部で請け負う
- ・ロードマップの作製（生活に直結する情報を掲載）
- ・魅力的な小学校が人を呼ぶきっかけに

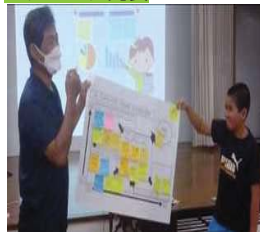
【仲間づくり・声かけ・共感】

- ・移住者の歓迎会の開催や行事の伝達・役割の共有
- ・字の魅力をより充実させる
（高倉に三線を置く・花いっぱい運動・写真展の開催）

【組織化・計画に向けて出来る事】

- ・字で求人案内と住みたい人の把握
- ・定期的なグラウンドゴルフの開催
- 【組織化・計画に向けて出来る事】
- ・意見として町に対する要望が多くみられた
（ネット環境整備 上下水道の設置 軟水器の設置 住宅の建設など）
- ・字で移住者の面接・住居管理を行う
- ・字で雇用と求人の把握
- ・DIYグッズを準備する

Aグループ発表



Bグループ発表



Cグループ発表



Dグループ発表



9

次回はいよいよ最終報告会

3月4日（土）19：00～@住吉地区振興センター

多くの字のみなさまのご参加をお待ちいたしております。

直接参加できない方は下記のQRよりオンラインでの参加も可能です。



10

令和4年度コロナ禍・後を見越した新たな地域コミュニティ構築事業

「住吉字プロジェクト」報告会



株式会社アネシス

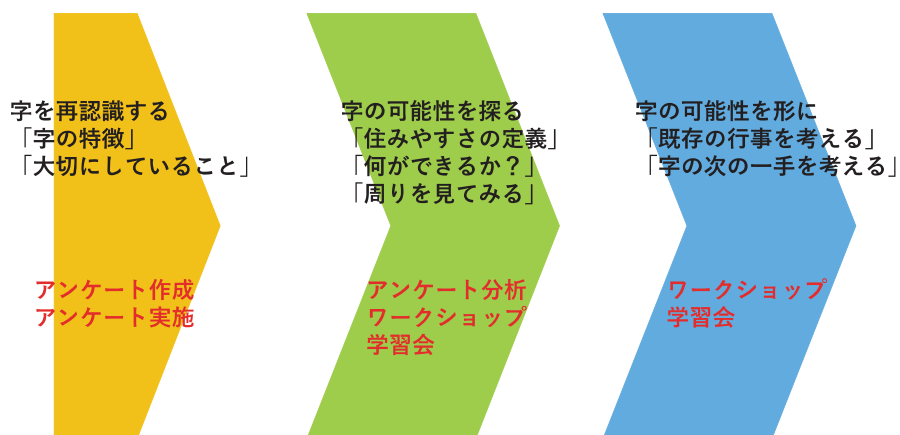
1

本日の流れ

- ①住吉字プロジェクトの経緯報告
- ②プロジェクト成果についての報告及び総評
- ③質疑応答

2

①住吉字プロジェクトの経緯報告



3

①住吉字プロジェクトの経緯報告

令和4年8月27日（土）プロジェクトキックオフミーティング

令和4年9月 「アンケート」を字のみなさんが議論して作成

令和4年10月 全字民を対象とした「アンケート」実施

4

実施した「アンケート」



5

①住吉字プロジェクトの経緯報告

令和4年8月27日（土）プロジェクトキックオフミーティング

令和4年9月 「アンケート」を字のみなさんが議論して作成

令和4年10月 全字民を対象とした「アンケート」実施

令和4年10月26日（土）「アンケート」報告会

令和4年12月18日（日）字全体への「アンケート」分析報告

6

配布された「アンケート報告書」



7

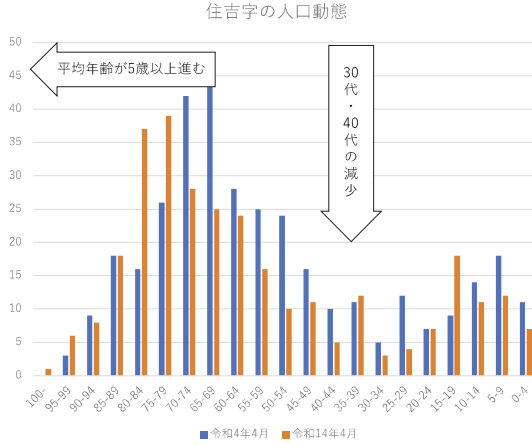
①住吉字プロジェクトの経緯報告

令和5年1月21日（土）第1回ワークショップ

8

第1回住吉字ワークショップ報告

R5.1.21開催



●10年後住吉字人口推移 (予想)

令和4年 348人
 令和14年 302人
 増減 ▲46人

- ①字人口が50名ほど減少
- ②20代～40代が大変少ない字になる
- ③平均年齢が5歳以上上昇する



10年後も住吉字が元気で持続する次の「一手とは」

※令和4年4月の65歳以降の人数に厚生労働省の死亡率をかけて自然減を調整
 ※令和4年4月の10歳～25歳は半数を就学・就職で離れるとして調整
 ※令和4年度以降の出生率は現在の数字から試算

9

どのような字にしたいか

みんなで考えた「住みよい字の条件」とは。

①日常的にあいさつにあふれ、会話の多い字

- ・コミュニケーションが盛ん
- ・会話が得意
- ・よくあいさつをする
- ・共通の話題が多く、話ができる
- ・住む人がニコニコしている
- ・明るい人が多い

②相手を理解しつつ、協調・協力のある字

- ・常識のある人が多い
- ・相手を尊重する
- ・プライバシーが守られる
- ・協調性がある
- ・協力的である

③清潔で明るさのあふれる字

- ・きれいな環境
- ・よい香り
- ・ごみがない

④住む人の必要な環境が整っている字

- ・子ども安心できる環境
- ・環境設備が整っている
- ・ネット環境の充実
- ・交通の利便性が高い
- ・商店が多い
- ・よい意味で静か
- ・住める家の充実
- ・遊び場の制限がない

⑤必要な行事があり、行事を通じてつながりが深まる字

- ・母の日のつどいのような行事を残す
- ・行事がほどほどにある
- ・みんなの楽しめるような行事は必要
- ・行事が多すぎない

⑥若い人や子どもが多く、活気のある字

- ・若者が多い
- ・子どもが多い

※その他
 ・字が好き



10

①住吉字プロジェクトの経緯報告

令和5年1月21日（土）第1回ワークショップ

令和5年2月11日（土）第2回ワークショップ

11

■第1部パネルディスカッション

「迎え入れる人はどんな人かを知ろう！」

【パネラー】

えらぶ島づくり事業協同組合	職員	寺内祐介さん
知名町商工会青年部	部長	金城良太郎さん
	副部長	宇山一麻さん

【コーディネート】

株式会社アネシス

吉留大輔

【話のまとめ】

- ①U・Iターン者が字に住む際の迎え入れ方が重要である
- ②移住しようとする際のポイントは子育て等の住む環境及び仕事があるかないか？
- ③島全体の産業では人手不足が深刻であるが移住する方が住む場所がないという悩みもある



12

■第2部ワークショップ

「『住みよい住吉』となるために何をすべきか？」

【前回】 みんなで考えた「住みよい字の条件」

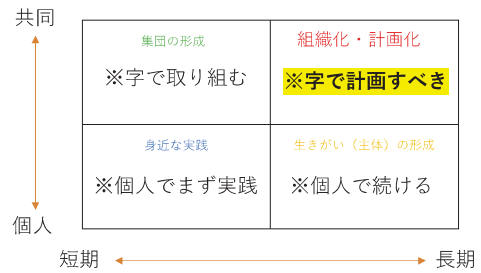
- ①日常的にあいさつにあふれ、会話の多い字
- ②相手を理解しつつ、協調・協力のある字
- ③清潔で明るさのあふれる字
- ④住む人の必要な環境が整っている字
- ⑤必要な行事があり、行事を通じてつながりが深まる字
- ⑥若い人や子どもが多く、活気のある字



【今回】 シート回収の結果、4つのテーマが選ばれ、その4つについてより深く考えるグループワークを実施

- ①まずはそれぞれのテーマについて何ができるか？を意見出し
- ②それぞれのアイデアを実現するために必要な時間と協働性の有無という2軸で考えてみる
- ③4つのテーマを全員で見直し、何が必要かを考えるというワークショップを実施
- ④字全体で計画をつくるべき内容を可視化

【アイデアについて考える際に利用したシート】



※また今回のグループ内討議の際のまとめ役はグループ内の若手の方に依頼をしました。非常にみなさんまとめ方がうまく今後の進行でも大きな力となってくれると思います。

13

①住吉字プロジェクトの経緯報告

令和5年1月21日（土）第1回ワークショップ

令和5年2月11日（土）第2回ワークショップ

令和5年2月18日（土）第3回ワークショップ

14

■前半ワークショップ「人と会う楽しみが感じられる行事」を考えよう！

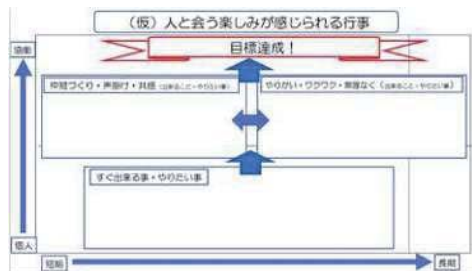
■後半ワークショップ「持続可能な字になるために」

今回選んだ行事は・・・？

敬老会

選んだ理由

今より更に「住みよい住吉」になるために、字の行事を見つめ直すことは必要不可欠です。敬老会はコロナ禍の影響で3年もの間、開催されていませんが、小さなお子さんからお年寄りまで幅広い年代が参加する字の大切な行事の一つです。準備を含めると約半年後に迫った敬老会をより楽しい行事にするために必要なことを考えます。

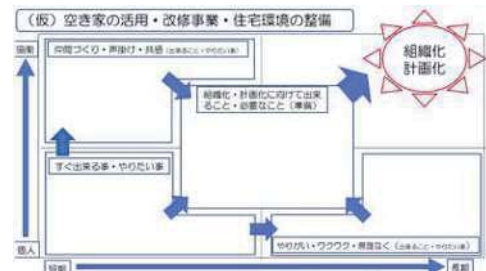


今回選んだミッションは・・・？

空き家活用・改修事業・住宅整備

選んだ理由

住吉字が「住みよい住吉」として住みたい地域の魅力が増すほど、忘れてはならないのが迎え入れる準備です。人が生きるうえで重要な「衣・食・住」ですが、長期的な視点で取り組まなければならないのが「住」の要素です。移住を希望される方々がいつでもはいるように、個人として出来ること字として取り組まなければならないことについて、準備が必要です。



15

『前半ワークショップまとめ』

～住民の考えるより楽しみが感じられる敬老会とは？～

【すぐ出来る事・やりたい事】

- ・来られないお年寄りに対する気配り
- ・参加した子どもも含めて楽しめる内容
- ・敬老会での参加確認を利用して安否確認
- ・世代を超えての交流ができる内容

【やりのがい・ワクワク・無理なく】

- ・より交流がしやすい内容（ゲーム・カラオケ・昔話）
- ・景品等を活用して楽しい内容にする
- ・式典を簡略化し、負担がかからないやり方に変更
- ・各種団体での出し物参加

【仲間づくり・声かけ・共感】

- ・中高生など若い世代への呼びかけ
- ・各地の郷土会や外部の方への呼びかけ
- ・オンラインの活用
- ・各種団体の積極的な参加

Aグループ



Bグループ



皆さん真剣にワークショップに取り組んでいます！



Cグループ



Dグループ

16

『後半ワークショップまとめ』 ～空き家活用・改修事業・住宅整備について～

【すぐ出来る事・やりたい事】

- ・空き家の清掃、空き家周辺の清掃
- ・空き家の把握（空き家シートの作成→持ち主確認・状態把握）
- ・字の魅力の発信したい

【やりがい・ワクワク・無理なく】

- ・空き家の有効活用（ワークショップの場にした）
- ・空き家の改修を青壮年部で請け負う
- ・ロードマップの作製（生活に直結する情報を掲載）
- ・魅力的な小学校が人を呼びよせかけに

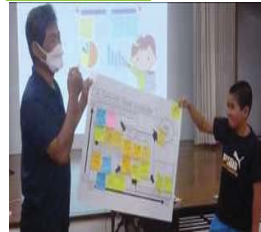
【仲間づくり・声かけ・共感】

- ・移住者の歓迎会の開催や行事の伝達・役割の共有
- ・字の魅力をより充実させる
（高倉に三線を置く・花いっぱい運動・写真展の開催）

【組織化・計画に向けて出来る事】

- ・字で求人案内と住みたい人の把握
- ・定期的なグラウンドゴルフの開催
- 【組織化・計画に向けて出来る事】
- ・意見として町に対する要望が多くみられた
（ネット環境整備 上下水道の設置 軟水器の設置 住宅の建設など）
- ・字で移住者の面接・住居管理を行う
- ・字で雇用と求人の把握
- ・DIYグッズを準備する

Aグループ発表



Bグループ発表



Cグループ発表



Dグループ発表



17

①住吉字プロジェクトの経緯報告

令和5年1月21日（土）第1回ワークショップ

令和5年2月11日（土）第2回ワークショップ

令和5年2月18日（土）第3回ワークショップ

令和5年3月4日（土） 最終報告会

18

②プロジェクト成果についての報告及び総評

プロジェクトを通じて得られたこと

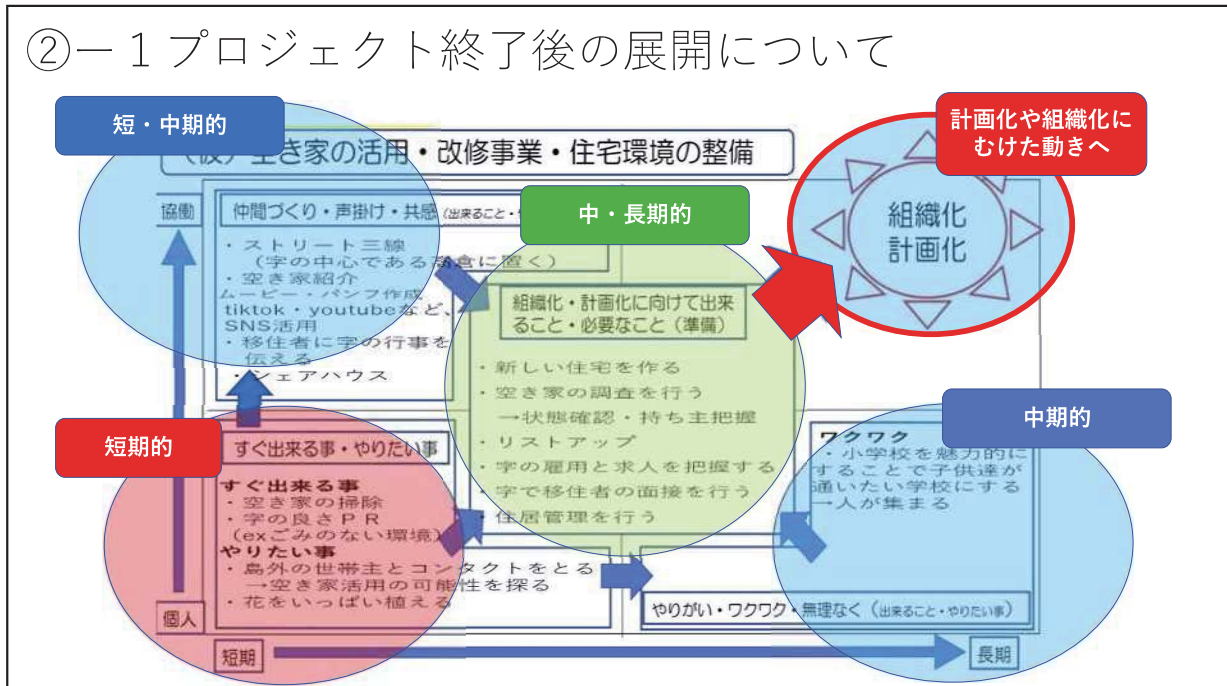
アンケートを通じて字の特徴や問題点（各種行事・人口推移）がわかった

字の持続可能性を高めるためにも産業との連携が重要であり、
住吉にはその潜在力が高いことがわかった

住みやすい字として、まずは「敬老会」を字民のアイデアで改善し、
中長期的な計画として「移住者を受け入れることができる字」として
未来につながる住吉字にしていくことを字の方向性として認識できた

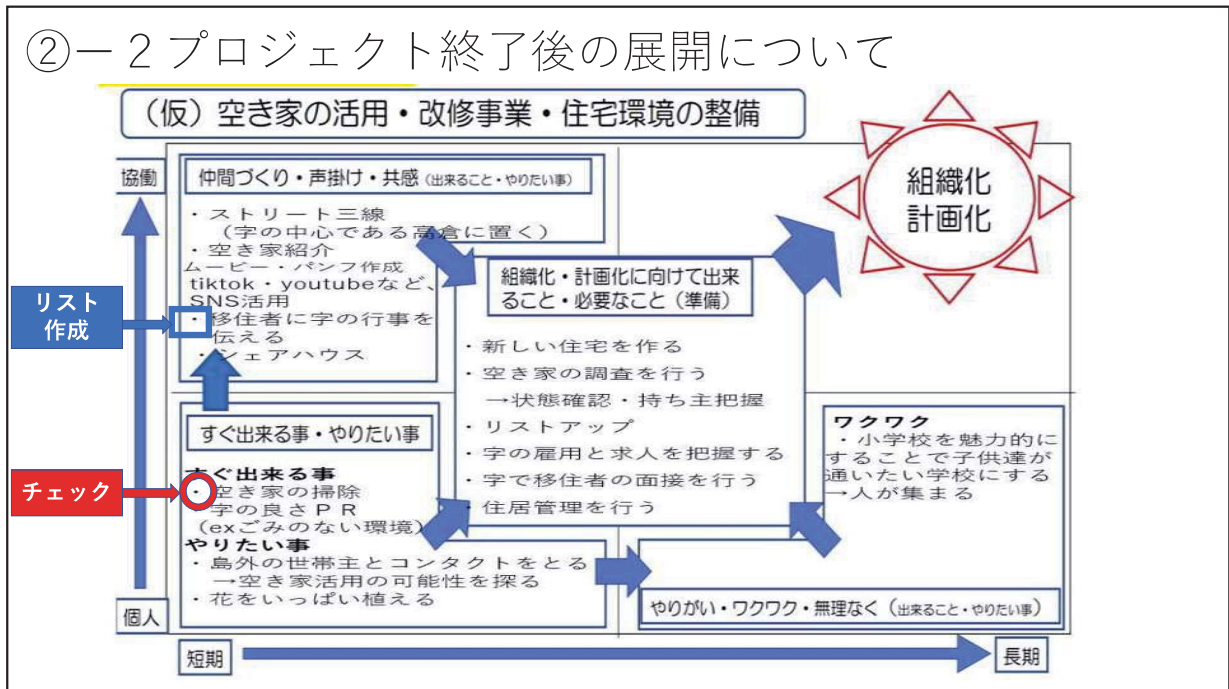
19

②-1 プロジェクト終了後の展開について



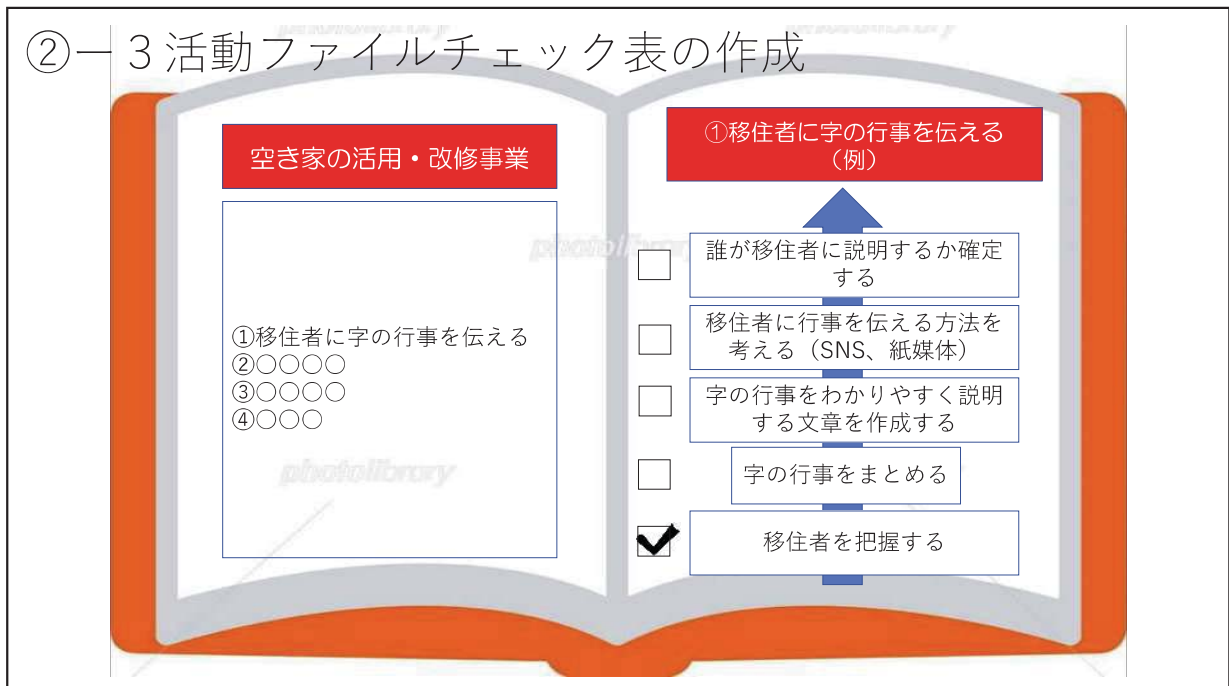
20

②ー2 プロジェクト終了後の展開について



21

②ー3 活動ファイルチェック表の作成



22

②ー4 字の2023年度達成項目

テーマ：日常的に挨拶にあふれ、会話が早い字

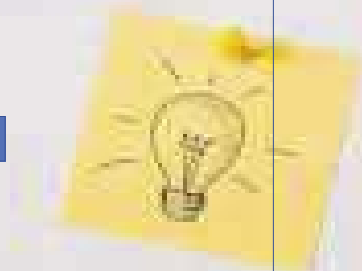
🌸 一日一回誰かに挨拶をする

🌸 ○○○○

テーマ：空き家の活用、住環境の整備

🌸 移住者に字の行事を伝える

🌸 ○○○



23

③質疑応答

ご質問、ご意見、ご感想、なんどもどうぞ！

24

最後に



25

最後に

この半年間、大変お世話になりました。
ありがとうございました。

「住んでよし住吉」字の今後を楽しみにいたします！

26